

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	259 260	3.2.2		ge	デバイス (device) と部品 (component) の用語が使われている。	デバイスと部品の違いを明確にする。	略語項目の一番最後に下線点線の注記で次のように記載いたします。 「SPC は、回路基板などに実装されるものである。SPD は、感電防止のためのきょう (筐) 体内に SPC, 状態表示器など付けられたものである。」
渋谷 隆 2	349	6.3.2		ed	「オーダー」 極力日本語を用いる。	「桁 (けた)」に変更する。	ご提案どおり、「桁」に変更致します。
渋谷 隆 3	380 387	7.1.1	図 7	ed	図 7 の題名と 380 行に記載の「MOV を低圧交流電力システムに適用する最も一般的な電気構成」とが一致していない。	同じ表現とする。	380 行を、次のように点線下線で追記致します。 「MOV を低圧交流電力システムに適用する最も一般的な電気構成の接続例を～」
石井 1	519			Ge	「VM」 「Uc」 「MCOV」 が混在していますが、特にそのままが良いでしょうか。	引用規格から引っ張ってくる分はそのままでも良いかもしれませんが、438 行では、VM を主として記載しているので、519 行の本文中は VM を使用するのでしょうか。	519 行も MCOV→VM に修正し統一致します。
渋谷 隆 4	822	7.2.2		ed	「附属書 G 及び附属書 H に、機器及び SPD 用の MOV 及び過熱保護付き MOV の選定のフローチャートを示す。」。附属書 G 及び附属書 H の題名と異なる。	附属書 G 及び附属書 H の題名を記載する。	ご提案通り、意識で次のように記載致します。 「附属書 G に機器用 MOV / 過熱保護付き MOV の選定方法、及び附属書 H に SPD のための MOV / 過熱保護付き MOV の選定方法を示す。」

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2026-05-25	規格番号: <b>C5381-332</b>	プロジェクト:
----------------	------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 1	1101	附属書 C		ed	略語"LED"の記載に関して	略語「LED」を「発光ダイオード (LED)」の様に記載する必要はないでしょうか？	「LED」はこの一箇所しかないので、ご提案に従い「発光ダイオード (LED)」と致します。
渋谷 隆 5	1177 1186	G H	図 G.1 図 H.1	ed	「フロー図」	「フローチャート」に変更する。	ご提案どおり、「フローチャート」に変更致します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	118 536 569 610 657 など	3.1.1 A.4 B.4 C.4 D.4 など		ed	対数の底 (10) がない。 ISO/IEC Directives Part 2, Table B.1 に Symbol for expressing logarithm Do not write "log" in mathematical formulae because it is necessary to specify the base of the logarithm. Write "lg", "ln", "lb" or "loga" when the base is 10, e, 2 and "a", respectively. とある。 JIS Z 8301 表 B.1、No16 では「紛らわしくない 場合は log を用いてもよい」とあるが、底を付け ることを強く推奨する。	対数の底 (10) を追加する。	修正案に基づき、対応しま す。
渋谷隆 2	120	3.1.1		ed	JIS Z 8301 は、定義に句点「。」を含まないこと を要求している。また、定義に式を含まず、注釈 に記載することを求めている。 対応国際規格が最新の ISO/IEC Directives Part 2 に従っていないと思う。	SC86C 国内委員を通じ、ISO/IEC Directives Part 2 の最新版に従うよう申し入れる。	修正案に基づき、次の様に 対応します。 「出力されるパワーであ る。」⇒「出力されるパワ ー」に修正します。 IEC 原文については次回改 定時に修正を依頼します。
渋谷隆 3	136	3.1.4		ed	「パワーメータ」及び「光パワーメータ」が混在 している。	光パワーメータに統一する。	修正案に基づき、対応しま す。
渋谷隆 4	145	3.1.5		te	光ファイバの両端から同時に光を入射するのか、 順次、光を入射するのがあいまいである。	「光ファイバの両端に順次、光を入射することによ ってなされる、同じ光ファイバの二つの測定」 に修正する。	修正案に基づき、対応しま す。
渋谷隆 5	157	3.1.8		ed	定義が「もの」で終わっている。	「もの」を「終端の構造」に修正する。	修正案に基づき、次の様に 修正します。 「もの」⇒「終端」に修正 します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 6	176	3.1.12		ed	この規格では「ソケット」が単体で用いられているが定義がない。  たとえば、IEC 60050-151-12-20 には、次の定義がある。これを出典又は Note to entry に記載することを強く推奨する。  connector attached to an apparatus, or to a constructional element or alike  Note – Contact members of a socket may be socket contacts, pin contacts or both.	注釈に、「ソケット」が定義されている出典（たとえば IEC 60050-151-12-20）を追記する。	修正案に基づき、対応します。
石井 1	187 227 284 587			Ge	代替測定法, ATM  ATM 代替試験方法  代替測定法(ATM)  代替測定法	I.227 を「代替測定法」に合わせる	修正案の内容に基づき、修正します。
渋谷隆 7	218	3.2	図 1	ed	「ピンあり型」、「ピンなし型」は形を表している。JIS C 5982 では、M 形、F 形と表現されている。「ピンあり形」、「ピンなし形」の方が適切。	「ピンあり形」、「ピンなし形」に修正する。	修正案に基づき、対応します。
渋谷隆 8	226～ 234	3.3		ed	略語に英語の full term がない。  最近、IEC Central Officer Editor が厳しくなっており、それに従うことを強く推奨する。他のファイバオプティクス関連の JIS では、full term を記載している。	英語の full term、例えば alternative test method などを丸括弧で記載する。	修正案に基づき、対応します。
渋谷隆 9	238	4.1		ed	「指定される」  JIS では極力能動態を用いる。引用の場合は状態を示す「されている」が好ましい。	「指定されている」に修正する。	修正案に基づき、対応します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 10	317	5.3		ed	「必要である」は要求か、それとも情報か 要求の場合は、「検出器の受光領域は十分広くな らなければならない」とする。	要求事項か説明かを明確にする。	修正に基づき、次の様に対 応します。 「必要である」⇒「望まし い」に修正します
石井 2	343,355 404,433 445,456 494,541 576,618 664,816 1035,12 96,1381			Ge	各行では、「LSPM 法」として記載されていま す。  LSPM(光源パワーメータ)では、「・・・試験シ ステム」と定義されていますが、LSPM 法とし て、定義されてはいないのではないのでしょうか。	例えば、「4. 試験方法」の部分において  「はじめの四つの方法では、減衰量を測定するた め、光源及びパワーメータ (LSPM) を使用し て、被試験ケーブル配線の入出力パワーレベルを 測定する。これらを総称して LSPM 法とする。こ れら・・・」  という一文を追加する。	修正案の内容に基づき、修 正します。
石井 3	377,393 402			Ge	「LSPM 試験」が不明です。上記 LSPM 法を用 いた試験でしょうか。		次の様に対応します。  「LSPM 法を用いた試験」 とします。
石井 4	755,757, 759,766, 768,996, 997,,			Ge	意味的には同じかと思いますが、用語として 2 つ 記載されています。  「最小二乗近似」「線形回帰」	「最小二乗近似」に合わせる	修正案に基づき、修正しま す。
石井 5	523, 557 593, 664 1093, 1112			Ge	基準パワーが本文だと P1 ですが、附属書だと P0 や Pref (新たな基準ということで、これは仕 方がないと思いますが) となっているので、混乱 しないでしょうか。	基準パワーを統一する。	修正案につきましては削除 を希望します。  記号が異なりますが各々の 文章中で基準パワーである ことを記載しているため混 乱は避けられると考えま す。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 11	879	G.1		ed	附属書 G (参考)、附属書 H (参考) に「しなければならぬ」要求の表現がある。	IDT を保つために、注記での説明を追加する。	修正案に基づき、次の様に 対応します。  879 行: 「しなければならぬ」⇒「する」  938 行: 「しなければならぬ」⇒「することが望ましい」  944 行: 原文が「shall」なのでこのままとして注記を加える  994 行: 「しなければならぬ」⇒「する」  1054 行: 「しなければならぬ」⇒「する」  1090 行: 原文が「shall」なのでこのままとして注記を加える  1100 行: 原文が「shall」なのでこのままとして注記を加える  1155 行: 原文が「shall」なのでこのままとして注記を加える  1178 行: 原文が「shall」なのでこのままとして注記を加える  1224 行: 原文が「shall」なのでこのままとして注記を加える  1407 行: 原文が「shall」なのでこのままとして注記を加える
	938	G.3.1					
	944	G3.2					
	994	G.5					
	1054	H2					
	1090	H3.1					
	1100	H3.2					
	1155	H3.3.3					
	1178	H.3.3.4					
	1224	H.3.5					
	1407	J.3.1					

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
石井 6			E.2, E.4, G.1, G.2, G3, G4, G5	GE	横軸が L で、図中の C 部分に該当する部分も L となっています。	x 軸の L を変えた方が良くはないでしょうか。	修正案に基づき、次の様に 対応します。  「L」を「距離」に変更 します。
石井 7	1427, 1428, 1472, 1473		E.2, E.3, E.4, G.3, G.5		行番号で記した部分の L1, L2 はパワーであるが、図で記した部分では位置であったり、距離である。	文字を変える。	修正案に基づき、次の様に 対応します。  附属書 J の Lx (x=1,2,3) は「PLx」のように記載 します。
山田 1	1454	J.3.4		ed	略語" LED"の記載に関して	略語「LED」を「発光ダイオード (LED)」の様に記載する必要はないでしょうか？	ご提案のとおり修正いたします。
渋谷 隆 12	1462 1465 1468	J.3.4	図 J.5 図 J.6 図 J.7	ed	縦軸の単位がない	(%) を追加する。	修正案に基づき、対応 します。
渋谷 隆 13	1462 1465 1468 1473 1476 1479 1482 1485 1488	J.3.4	図 J.5 図 J.6 図 J.7 図 J.8 図 J.9 図 J.10 図 J.11 図 J.12 図 J.13	ed	凡例は、図の下が適切。さらに図の上にある説明は不要。  図の上の説明は図の副題と重なっているため削除しなければならない。  JIS Z 8301 では、図の下に記号説明 (IEC でいう Key) を記載することを要求している。  図の書き直しは、JIS 原案作成団体が行う必要がなく、JSA が対応してくれる。	凡例を図の下に移動し、図の上にある説明を削除する。	修正案に基づき、対応 します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 14	1465 1468	J.3.4	図 J.6 図 J.7	ed	図中の赤い破線の意味の説明がない	説明を記載する。	修正案に基づき、次の様に 対応します。 図 J.6 の赤い破線の説明 「EF 充填不足時の下限 値」 図 J.7 の赤い破線の説明 「EF 過剰充填時の上限 値」

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	213	4.1		ed	JIS C 60068-1 附属書 A (参考) 部品の耐候性カテゴリー  附属書 A の箇条名を記載することで発行年を削除できる。	「JIS C 60068-1 の附属書 A (参考) 部品の対候性カテゴリー」とする。	対応国際規格どおり発行年を記載しており、IDT でもあるため、このままをお願いいたします。
					発行年を削除し、その旨を注記で記載し、解説にも記載すれば、IDT は維持できます。		対応国際規格どおり発行年を記載することで一致規格としています。例えば次回の JIS C 60068-1 改正時に附属書 A の項目が削除、変更又は附属書 A 自体が削除された場合などは、JIS 利用者が混乱すると思います。  なお、JIS C 60068-1 : 2016 の附属書 A は参考ではなく規定です。
石井 1	251, 253			Ge	kHz とすべきが KHz となっている。	KHz にする。	KHz に修正致します。
渋谷隆 2	346	5.8.4		te	後処置の条件の規定がない	必要であれば温度 (常温又は標準大気条件) を記載する。	親規格 C5101-1 の 5.2.2 (後処理) で、「後処理では、標準大気条件に放置する。」と明記されているので、問題ないと思います。ただ、対応国際規格では 5.14.4 だけ The capacitors shall be subjected for 6 h to 24 h to the standard atmospheric conditions for testing. と記載があり、意識ということで「標準大気条件」を 4 箇所共通で追加記載致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2026-05-25	規格番号: <b>C5101-8</b>	プロジェクト:
----------------	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 3	425	5.12.7.3		te	後処置の条件の規定がない	必要であれば温度（常温又は標準大気条件）を記載する。	上記同様「標準大気条件」を追加記載致します。
	448	5.13.4					
	466	5.14.4					

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
石井 1	143			Ge	「リードレスの」 C5101-8 142 行「リードなしの」 と統一性がない	「リードなしの」もしくは「リードレス」に統一する。	「リードなしの」に修正し統一致します。
渋谷 隆 1	188	4.1		ed	JIS C 60068-1 附属書 A (参考) 部品の耐候性 カテゴリー 附属書 A の箇条名を記載することで発行年を削除できる。	「JIS C 60068-1 の附属書 A (参考) 部品の対候性カテゴリー」とする。	対応国際規格どおり発行年を記載しており、IDT でもあるため、このままようお願い致します。
					発行年を削除し、その旨を注記で記載し、解説にも記載すれば、IDT は維持できます。		対応国際規格どおり発行年を記載することで一致規格としています。例えば次回の JIS C 60068-1 改正時に附属書 A の項目が削除、変更又は附属書 A 自体が削除された場合などは、JIS 利用者が混乱すると思います。  なお、JIS C 60068-1 : 2016 の附属書 A は参考ではなく規定です。
石井 2	356			Ge	「コンデンサの外観を検査する。外観に異常があつてはならない。」 C5101-8 325 行 「コンデンサの外観検査を行い、外観に損傷はなく、表示は明瞭でなければならない。」 微妙に表記が異なる。	可能であれば、統一した方が良い。	C5101-8 325 行を 「コンデンサの外観を検査する。外観に異常があつてはならない。」に修正し統一致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2026-05-25	規格番号: <b>C5101-9</b>	プロジェクト:
----------------	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 2	319	5.7.4		te	後処置の条件の規定がない	必要であれば温度（常温又は標準大気条件）を記載する。	C5101-8 に合わせ、意識ということで「標準大気条件」を 5 箇所共通で追加記載致します。
	345	5.9.5					
	426	5.13.8.3					
	451	5.14.5					
	472	5.15.5					
渋谷 隆 3	619	A.2		ed	対数の底（10）の記載がない。	対数の底（10）ヲ記載する。	対応国際規格は「lg」ですが、分かりやすくするため、ご提案通り対数の底を付けて log <sub>10</sub> と致します。
	623						
	624						
	633	A.3					

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	213	4.1		ed	JIS C 60068-1 附属書 A (参考) 部品の耐候性カテゴリー  附属書 A の箇条名を記載することで発行年を削除できる。	「JIS C 60068-1 の附属書 A (参考) 部品の対候性カテゴリー」とする。	対応国際規格どおり発行年を記載しており、IDT でもあるため、このままお願い致します。
					発行年を削除し、その旨を注記で記載し、解説にも記載すれば、IDT は維持できます。		対応国際規格どおり発行年を記載することで一致規格としています。例えば次の JIS C 60068-1 改正時に附属書 A の項目が削除、変更又は附属書 A 自体が削除された場合などは、JIS 利用者が混乱すると思います。  なお、JIS C 60068-1 : 2016 の附属書 A は参考ではなく規定です。
渋谷隆 2	293 296	5.5.3.2	図 1  図 2	ed	図 1 及び図 2 の名称が同一。  図 1 は、欠落又は異物付着に見える。	図 1 の名称を適切に変更する。又は図 1 に注記を記載し、図 2 の注記のような説明を追加する。	点線下線の注記で、「表面損傷又は欠落を示している。」と追記致します。
渋谷隆 3	303	5.5.3.2		ed	「セラミックス」	「磁器」に変更する。	ご提案通り「磁器」に変更いたします。
石井 1	403			Ge	「堅ろう (牢) な」  C5101-22 422 行「堅牢な」	統一した方が良い	C5101-22 422 行を「堅ろう (牢) な」に修正し統一致します。
渋谷隆 4	510 564 586	5.12.4 5.14.4 5.15.4		te	後処置の条件の規定がない	必要であれば温度 (常温又は標準大気条件) を記載する。	C5101-8 に合わせ、意識ということで「標準大気条件」を 3 箇所共通で追加記載致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
石井 2	606			Ge	5.19 加速高温高湿（定常）（適用する場合） C5101-22 641 行「5.19 加速耐湿性（定常） （適用する場合）」 内容を見ると同内容に思われるが、表題が違う （C5101-22 コメントにも記載）		C5101-22 641 行を「加速高温高湿（定常）（適用する場合）」に修正し統一致します。
石井 3	640			Ge	「IEC 60417-5031」とすべて Bold 表記 C5101-22 674 行「IEC 60417-5031」-5031 は 通常表記		「IEC 60417-5031」とすべて Bold 表記に修正し統一致します。
石井 4	698			Ge	C5101-22 731 行と言い回しが異なりますが、 そのままよろしいでしょうか。		対応国際規格の英文はどちらも同じですが、C5101-22 の和訳が正しいので、C5101-21 を C5101-22 の和訳に倣い  「個別規格に規定がある場合で購入者から要求があるときは、JIS C 5101-1:2023 の Q.1.5 に示された出荷対象ロットの成績証明書を提出しなければならない。耐久性試験後の要求される性能値は、静電容量の変化、誘電正接 (tan δ) 及び絶縁抵抗である。」  に修正し統一致します

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	215	4.1		ed	JIS C 60068-1 附属書 A (参考) 部品の耐候性 カテゴリー  附属書 A の箇条名を記載することで発行年を削除できる。	「JIS C 60068-1 の附属書 A (参考) 部品の対候性カテゴリー」とする。	対応国際規格どおり発行年を記載しており、IDT でもあるため、このままお願い致します。
					発行年を削除し、その旨を注記で記載し、解説にも記載すれば、IDT は維持できます。		対応国際規格どおり発行年を記載することで一致規格としています。例えば次回の JIS C 60068-1 改正時に附属書 A の項目が削除、変更又は附属書 A 自体が削除された場合などは、JIS 利用者が混乱すると思います。  なお、JIS C 60068-1 : 2016 の附属書 A は参考ではなく規定です。
渋谷隆 2	297 300	5.5.3.2	図 1  図 2	ed	図 1 及び図 2 の名称が同一。  図 1 は、欠落又は異物付着に見える。	図 1 の名称を適切に変更する。又は図 1 に注記を記載し、図 2 の注記のような説明を追加する。	点線下線の注記で、「表面損傷又は欠落を示している。」と追記致します。
渋谷隆 3	307	5.5.3.2		ed	「セラミックス」	「磁器」に変更する。	ご提案通り「磁器」に変更いたします。
石井 1	426			Ge	インデント記号「ー」がついているが、前行の続きのようなので、はずす (5101-21 ではついていない)	統一した方が良い	C5101-21 に合わせ、インデント記号「ー」を削除致します
渋谷隆 4	633	5.19.4		ed	「標準試験状態」	「標準大気条件」に変更する。	ご提案通り「標準大気条件」に修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2026-05- 25	規格番号: <b>C5101-22</b>	プロジェクト:
-----------------	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
石井 2	641			Ge	「5.19 加速耐湿性（定常）（適用する場合）」 C5101-21 606 行「5.19 加速高温高湿（定常） （適用する場合）」 内容を見ると同内容に思われるが、表題が違う。 また、643 行を見ると「加速高温高湿（定常）」 と記載されている		C5101-22 641 行を「加速高温高湿（定常）（適用する場合）」に修正し統一致します。
石井 3			表 D. 3		「誘電正接」 C5101-21 では「誘電正接 (tan δ)」		C5101-21 を「誘電正接」に修正し統一致します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2026-05-25	規格番号: C5160-2	プロジェクト:
----------------	---------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	166	4.2.2		ed	「±20 %又は−20 %／+80 %」 「又は」及び「／」の意味が不明。 ±20 %又は−20 %〜+80 %なのか？	誤解のないように記載する。	ご指摘どおり「±20 %又は−20 %〜+80 %」に変更致します。
渋谷隆 2	166	4.2.2		ed	末尾に「.」がある。	削除する。	「.」を削除いたします。
渋谷隆 3	195	5.4.3		ed	「コンデンサは、材料、設計、構造、物理的な寸法及び出来栄え (workmanship) が、個別規格に規定する要求事項を満足することを証明するために検査する。」 要求事項は「検査する」又は「要求事項を満足することを証明する」のどちらか。	「コンデンサは、検査によって材料、設計、構造、物理的な寸法及び出来栄え (workmanship) が、個別規格に規定する要求事項を満足することを確認する。」に変更する。	原文維持を希望致します。 対応国際規格は「The capacitors shall be examined to verify〜」で、要求事項は「検査を実施する」、目的は「要求事項に適合していることを確認する」であると考えます。 原文の方が、対応国際規格どおりだと思いますがいかがでしょうか。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		分科会は、上記説明のように原文どおりがよいという判断です。このままでお願い致します。
渋谷隆 4	200	5.5.1.1		ed	次があいまい。	「次の 5.5.1.2 及び 5.5.1.3」に変更する。	5.5.1.1 の次は 5.5.1.2 及び 5.5.1.3 だけなので理解できると思います。 また、今後の改正で箇条構成が変更された場合など細分箇条の修正が必要になり、確認作業も必要になり、できましたらこのままようお願い致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		分科会では今回のご指摘箇所を確認しましたが、「次の～」の下は連続した細分箇条であり、JIS 利用者は理解できるという判断です。このままをお願い致します。
渋谷隆 5	208	5.5.2.1		ed	次があいまい。	「次の 5.5.2.2 及び 5.5.2.3」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままをお願い致します。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままをお願い致します。
渋谷隆 6	218	5.5.3.1		ed	次があいまい。	「次の 5.5.3.2 及び 5.5.3.3」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままをお願い致します。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままをお願い致します。
渋谷隆 7	229	5.6.1		ed	次があいまい。	「次の 5.6.2 及び 5.6.3」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままをお願い致します。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままをお願い致します。
渋谷隆 8	237	5.7.1		ed	次があいまい。	「次の 5.7.2, 5.7.3 及び 5.7.4」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままをお願い致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままです。
渋谷隆 9	251	5.8.1		ed	次があいまい。	「5.8.2」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままです。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままです。
渋谷隆 10	258	5.9.1		ed	次があいまい。	「5.9.2, 5.9.3 及び 5.9.4」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままです。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままです。
渋谷隆 11	261	5.9.3		ed	後処理を含んでいる。	箇条名を「供試及び後処理条件」に変更する。	現行規格でも“後処理”を箇条名に記載しておらず、説明文で“後処理”は理解できるとしています。IDT →MOD の可能性もあり、今回は対応国際規格どおり箇条名を変更せずこのままです。次回の対応国際規格改訂時に修正提案致します。
					後処理条件を追記したうえで点線下線付与、注記にその旨を記載し、解説にも記載すれば IDT は維持できます。		親規格 C5160-1 の 5.4.1.3、5.4.2.3、8.3.3 「最終測定」では同じような文章で後処理を説明していますが、細分箇条名に「後処理」の記載はありません。また、測定前に標準

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2026-05-25	規格番号: <b>C5160-2</b>	プロジェクト:
----------------	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							大気に放置するのは一般的な処理であり特段の処理をするわけではありません。今回は親規格の記載様式に合わせたいのでこのままでお願い致します。
渋谷隆12	270	5.10.1		ed	次があいまい。	「5.10.2, 5.10.3 及び 5.10.4」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままでお願い致します。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままでお願い致します。
渋谷隆13	283	5.11.1		ed	次があいまい。	「次の 5.11.2 及び 5.11.3」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままでお願い致します。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままでお願い致します。
石井1	290			Ge	コンデンサは、残電圧を測定を実施 意味が通らない。	「コンデンサは、残電圧を測定し」?	「コンデンサは、残電圧の測定を実施し、表 2 に示す要求事項を満足しなければならない。」に変更します。
渋谷隆14	293	5.12.1		ed	次があいまい。	「5.12.2, 5.12.3 及び 5.12.4」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままでお願い致します。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままでお願い致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 15	299	5.12.4		ed	後処理を含んでいる。	箇条名を「後処理, 最終検査, 測定及び要求事項」に変更する。	渋谷様 11 の対応案に同じで、このままをお願い致します。
渋谷隆 16	304	5.13.1		ed	次があいまい。	「5.13.2, 5.13.3 及び 5.13.4」に変更する。	<渋谷様 4 の対応案に同じで、このままをお願い致します。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままをお願い致します。
渋谷隆 17	311	5.13.4		ed	後処理を含んでいる。	箇条名を「後処理, 最終検査, 測定及び要求事項」に変更する。	渋谷様 11 の対応案に同じで、このままをお願い致します。
					後処理条件を追記したうえで点線下線付与、注記にその旨を記載し、解説にも記載すれば IDT は維持できます。		渋谷様 11 の追加コメント対応案に同じで、このままをお願い致します。
渋谷隆 18	316	5.14.1		ed	次があいまい。	「5.14.2, 5.14.3 及び 5.14.4」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままをお願い致します。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままをお願い致します。
渋谷隆 19	326	5.14.4		ed	後処理を含んでいる。	箇条名を「後処理, 最終検査, 測定及び要求事項」に変更する。	渋谷様 11 の対応案に同じで、このままをお願い致します。
渋谷隆 20	331	5.15.1		ed	次があいまい。	「5.15.2」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままをお願い致します。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままをお願い致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 21	351	6.1		ed	次があいまい。	「6.2, 6.3, 6.4 及び 6.5」に変更する。	渋谷様 4 の対応案に同じで、このままでお願い致します。
					対応国際規格があいまいな表現であれば、誤解のないように表現を変更することは技術的な変更にならないので IDT を維持できます。		渋谷様 4 の追加コメント対応案に同じで、このままでお願い致します。
渋谷隆 22	385	7.2		ed	「追加する必要がある。」 要求事項か説明事項か	要求事項であれば「追加する。」説明事項であれば「必要とされている。」に修正する。	Shall 文なので、ご提案通り「追加する。」に修正致します。
渋谷隆 23	411	7.4.4		ed	次があいまい	「個別規格」に変更する。	ご提案通り、「個別規格によるほか、～」に変更致します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2026-05-25	規格番号: C62813	プロジェクト:
----------------	--------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	174	4.2.1.2		ed	「次による」はあいまい。	「次の a)~f)による」に変更する。	対応国際規格どおりですが、ご提案通り意識で「次の a)~f)による。」と致します。
渋谷隆 2	183 204 など	4.2.1.2 4.2.2.1 など		ed	「誤差」が用いられている。誤差、確度、精度、測定不確かさ	確度、精度、測定不確かさなど適切な用語に変更する。	<p>本規格における“error”は、誤差伝播計算に用いる偏差としての意味、及び一般的な偏差・ずれを表す広義の意味の両方で使用されています。</p> <p>本規格では、これらを含めて「誤差」の概念として一貫して取り扱っており、特に誤差伝播の考え方に基づく計算式との整合を考慮して、「誤差」を統一的使用しています。</p> <p>一方、「確度」、「精度」及び「測定不確かさ」は、JIS Z 8103 等でそれぞれ異なる定義を有する計量学上の用語であり、本規格中の“error”全てに対して一律に対応付けられるものではありません。</p> <p>また、箇所ごとにこれらの用語へ置き換えた場合、規格内での用語の一貫性及び誤差伝播計算との関係が分かりにくくなる可能性があります。</p> <p>そのため、対応国際規格との整合性及び規格全体としての理解容易性を考慮し、</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2026-05-25	規格番号: <b>C62813</b>	プロジェクト:
----------------	---------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							「誤差」の表現を維持したいと考えております。
					本文はそのままが良いです。	解説の、例えば、その他の解説事項に説明を記載してください。	ご提案どおり、解説での説明を検討致します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: <b>C62024-1</b>	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	293	7.1.1		ed	「被測定デバイス (DUT)」が使われている。一方、「供試インダクタ」が多数使われている。 附属書 A では、表面実装コイルを供試品としている。 「被測定デバイス」、「供試インダクタ」及び「表面実装コイル」の違いが不明確。	用語の統一化を検討する。	ご提案通り、 被測定デバイス (DUT) 1 か所 DUT 9 か所 供試品 3 ケ所 を 全て「供試インダクタ」に統一致します。
石井 1	308、 318, 323			Ge	試験ジグ	試験用ジグ	3 箇所ともに「試験用ジグ」に修正し用語を統一致します。
渋谷隆 2	416	A.1		ed	附属書 A の題名は「表面実装インダクタ」。「コイル」は、ここにだけ使われている。	コイルをインダクタに変更する。 4	ご提案通り、「表面実装コイル」を「表面実装インダクタ」に変更致します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	71	2		ed	JIS C 5402-2-1 はこの文書では特定の箇条、表又は図を引用していないため、発行年の付与は不要。	113 行、6.1 で JIS C5402-2-1 の接触抵抗測定の箇条名を記載する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご提案通り、JIS C 5402-2-1 から発行年を削除致します。</li> <li>JIS C 60068-2-43 の 6.1 には、JIS C 5402-2-1 の箇条名を追加いたしません。</li> </ul> <p>(理由)</p> <p>JIS C 5402-2-1 は、本文の総頁数が 2 頁と少なく、接触抵抗測定の説明は、複数の箇条で説明しているため。また、JIS C 5402-2-1 が接触抵抗測定だけの規格であり、箇条名を示さずとも規格の利用者に不便をかけないと存じます。</p>

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2026-05-22	規格番号: <b>C6122-5-1</b>	プロジェクト:
----------------	------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	114 115 200	4  7.1		ed	コネクタ	光コネクタに修正する	ご提案のとおり修正いたします。
渋谷隆 2	177	6.1.2		ed	アイソレータ	光アイソレータに修正する。	ご提案のとおり修正いたします。
渋谷隆 3	198 199	7.1	式(4) 式(5)	ed	対数の底 (10) が記載されていない。	底 (10) を追加する。	ご提案のとおり修正いたします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。